

令和 1 年度 事務事業評価シート

事務事業の概要・計画 (PLAN)

事務事業名	ポンプ場管理事業	会計名称	一般会計		担当課	土木管理課	
		予算科目	8 款 3 項 1 目	事業番号	3590	所属長名	武智年哉
事業評価の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 評価対象事業 <input type="checkbox"/> 評価対象外事業 (事業の概要・結果のみ)				担当責任者名	一方井浩介	
法令根拠等					実施期間	【開始】	令和/平成 17 年度
総合計画での位置付け	快適空間都市の創造 潤いのある水環境づくり					【終了】	令和 年度(予定) <input checked="" type="checkbox"/> 設定なし
総合計画における本事業の役割	ポンプ施設の適正な維持管理を行うことで快適空間都市創造を目指す。						
事業の対象	市民			事業の目的	市内各所にあるポンプ施設の維持修繕、改修および施設の管理委託費		
事業の内容 (整備内容)	市内各所にあるポンプ施設について適正な維持管理を行い、豪雨・災害等を未然に防ぎ地域の防災・安全の確保を図る。			昨年度の課題に対する具体的な改善策			

事業活動の内容・成果 (DO)

事業費及び財源内訳 (千円)							事業活動の実績 (活動指標)					
項目	前年度決算	当初予算額	補正予算額	継続費その他	翌年度繰越	決算額	項目	単位	前年度実績	1年度予定	9月末の実績	1年度実績
直接事業費	4,216	3,499	0	0	0	2,266	改修修繕実績率	%	100		100	100
財源内訳												
国庫支出金	0	0	0	0	0	0						
県支出金	0	0	0	0	0	0						
地方債	0	0	0	0	0	0						
その他	0	0	0	0	0	0						
一般財源	4,216	3,499	0	0	0	2,266						
職員の人工(にんく)数	0.20	0.20				0.20						
1人工当たりの人件費単価	7,982	7,992				7,992						
※ 直接事業費+人件費	5,812	5,097				3,864						
主な実施主体	直接実施		実施形態(補助金・指定管理料・委託料等の記載欄)									
向こう5年間の直接事業費の推移 (千円)					2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	5年間の合計		
					4,000	4,500	4,500	4,500	4,500	22,000		
成果指標	指標	実績改修修繕件数÷計画改修修繕件数(7件)×100			単位	区分年度	前年度	1年度	2年度	目標 毎年度		
					%	目標	100	100	100	100		
	指標設定の考え方	計画改修修繕件数と実績件数を比較することで維持管理成果を算出する。			⇒	実績	100	100				
	指標で表せない効果											

事務事業評価 (CHECK)

新たな課題や当初の改善策に対する対応状況 (今年度の途中経過)		梅雨時期までに応急工事として森浜ポンプ場φ600蝶形弁漏電修繕工事を実施することができた。										
事務事業評価	自己判定 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	5 4 3 2 1 この事業では施策の目的を果たすことができない。 社会情勢等のニーズに合致する。又は、行政管理上必要な事業である。	4	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	A	事業成果・工夫した点	定期的な点検作業を行い、現在の施設状況を把握する。降雨時にスクリーン等の清掃作業を行い、ポンプの排水効率を向上させた。			
			社会情勢等への対応	5 4 3 2 1 社会情勢又は行政管理事務に対応しておらず、見直しが必要である。	4							
			市の関与の妥当性	5 4 3 2 1 今のところ市の関与・実施は妥当と判断できる。	4							
		有効性	事業の効果	5 4 3 2 1 市民生活や行政内部の課題解決に向けて対応できている。	4	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D						
			成果向上の可能性	5 4 3 2 1 既に相応の成果を得ているが、まだまだ成果向上の余地がある。	4							
			施策への貢献度	5 4 3 2 1 施策推進への貢献は多々ある。	4							
	効率性	手段の最適性	5 4 3 2 1 現状では最善の手段であり、他の方策を検討する必要はない。	3	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	B	事業の苦勞した点・課題	ポンプの排水能力を超えた豪雨があり、ゲート操作を並行して行う等の臨機に対応した作業が必要であった。そのため担当職員は各施設詳細及び流入経路を把握しておく必要がある。				
		コスト効率	5 4 3 2 1 活動指標の実績も上がらず、効率的な手段の見直しが必要である。	3								
		市民(受益者)負担の適正	5 4 3 2 1 投入コスト以上の成果を得ており、コスト削減の余地は見当たらない。	3								
	一次判定 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	5 4 3 2 1 この事業では施策の目的を果たすことができない。 社会情勢等のニーズに合致する。又は、行政管理上必要な事業である。	4				合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	A	事業の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ■ 事業継続と判断する。 <input type="checkbox"/> 事業縮小と判断する <input type="checkbox"/> 事業廃止と判断する (判断の理由) 雨水ポンプ場の適正かつ能率的な維持管理を行うことは、豪雨災害等を未然に防止することができるため、市民の安全安心のため事業継続とする。
			社会情勢等への対応	5 4 3 2 1 社会情勢に概ね適合する。又は、行政管理上、概ね妥当である。	4							
			市の関与の妥当性	5 4 3 2 1 今のところ市の関与・実施は妥当と判断できる。	4							
有効性		事業の効果	5 4 3 2 1 市民生活や行政内部の課題解決に向けて対応できている。	4	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D							
		成果向上の可能性	5 4 3 2 1 既に相応の成果を得ているが、まだまだ成果向上の余地がある。	3								
		施策への貢献度	5 4 3 2 1 今後、成果の向上が期待でき、事業継続の必要がある。	4								
効率性	手段の最適性	5 4 3 2 1 現状では最善の手段であり、他の方策を検討する必要はない。	4	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	A	所屬長の課題認識	非常時のポンプの手动運転は、複数の職員が操作できるよう研修を怠らないこと。ポンプ施設の維持管理等については、計画的なスケジュールを立てて長寿命化・経費の削減に努めること。					
	コスト効率	5 4 3 2 1 活動指標の実績も上がらず、効率的な手段の見直しが必要である。	3									
	市民(受益者)負担の適正	5 4 3 2 1 投入コスト以上の成果を得ており、コスト削減の余地は見当たらない。	4									

施策を踏まえた判断	二次判定	<input checked="" type="checkbox"/> 一次判定結果は以下の点について良好と評価し、更なる事業推進を求める。 <small>豪雨時には職員が災害現場に出払っていることから、非常事態に備えたポンプの手動運転は複数の職員が操作できるようこれからも研鑽に努める必要がある。いざという時の対応は都市住宅課の公共雨水3施設のポンプ場担当者も同様であることから協力しあえる体制づくりも併せて必要である。 ポンプ場は森、本郡、尾崎海岸に3ヶ所、市営住宅に2ヶ所、国道下に4ヶ所、JR南伊予駅近くの道路に1ヶ所、上灘・下灘漁港周辺に1ヶ所ずつの合計12ヶ所のポンプ場がある。塩害による経年劣化も著しいことから、一次評価者のおお、長寿命化と平準的経費でスケジュールを立てること。</small>	⇒	指摘事項を踏まえ、事務改善、事業推進に努め、今年度の事務事業評価シートに反映させること。
		<input type="checkbox"/> 一次判定結果のおお事業継続と判断する。		
		<input type="checkbox"/> 一次判定結果のおお事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。		
		<input type="checkbox"/>		
		<input type="checkbox"/> 一次判定は以下の点について外部評価が必要と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。		
		<input type="checkbox"/> 一次判定結果のおお事業縮小と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。		
		<input type="checkbox"/> 一次判定結果のおお事業廃止と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。		
<input type="checkbox"/> 既に事業廃止が決定していることから、廃止に向けた手続を行う。				

行政評価委員会の答申	外部評価	答申の内容 <div style="border: 1px solid black; height: 100px; width: 100%;"></div>
------------	------	---

今後の方向性 (ACTION)

の経営最終者判断議	事業の方向性	コメント欄
	<input checked="" type="checkbox"/> さらに重点化する。	<div style="border: 1px solid black; height: 100px; width: 100%;"></div>
	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続する。	
	<input type="checkbox"/> 見直しの上、継続する。	
	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する。 事業を縮小する。	
	<input type="checkbox"/> 事業の休止、廃止を検討する。 事業を休止、廃止する。	
<input type="checkbox"/>		